



木童通信 vol.23

平成21年10月発行

木童 東京ショールーム

open 月～金10:00-18:00 土11:00-17:00
close 日・祝 (事前予約いただければ日祝の見学も可能です)

東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティ1F

TEL:03-5358-5125 FAX:03-5358-5126

URL:http://www.kodoh.co.jp E-mail:Tokyo@kodoh.co.jp

★質問にお答えします ～なぜ、木童は建具をつくったの?～

建具は家を決めると言っても過言ではないでしょう。住宅に関わると予算などの観点から、どうしても建具や床材にしわ寄せが来るような気がします。それならば、使える価格の建具を開発しようじゃないかと考えて約2年...やっと出来上がった自信作です。



目標はシナベニヤのフラッシュドア(※)の価格でした。からパネルやとどパネルは価格的に合うのですが、反りや捻じれが出るので、素性の良い源平パネルを素材としたドア(建具)を考えました。(※)木材の骨組みに合板を貼り、表面に骨組みの出ない構造の建具

* * * * *
源平パネルに使われている表面材は専門用語で「杉 赤白柎目無地上小」材と言います。

これは和室の長押などに使われる木材の等級で、割と価格の高い部位のものです。杉は産地によって用途の違う杉を育てています。自然素材志向が高まる中、“木の家”や“木の物”が見直されていますが、それらは短期伐採(40年～60年生)の山から出る丸太を利用する事が多く、産地によっては活気づいてきたところもあります。しかし、このような高級材を取るように育てられた中～長期伐採(80年生以上)の山では同じようにはいきません。【成長の違う木々があるため日が射しにくい森での】高い植林技術と【枝の痕跡を消すため、枯れる一步手前のえぐるように枝打ちをする】育林の技術が有って初めて美しい目の詰まった柎目の板が作られるのです。その手をかけた年月と技術に見合った価格で売れていかないとすれば、産地として成り立っていきません。長押や建具には100年生以上の杉材が使われる事が多いのですが、現在は和室を造る家が激減し、さらに天井材と同じく新建材(ハリ物)で済ませることが多くなりました。100年以上前に植林した山林家の人々はこのような時世に草葉の陰からさぞ驚かれていますことでしょう。源平パネルと木童の建具は、100年以上育てたその材の活用という意味合いもあり、建具としての機能と無垢材の質感のある“使える価格”の建具が出来たと自負しています。

* * * * *



設計：なかの一級建築士事務所 施工：小川共立建設
述べ床：約27坪 工事費：1,575万円(税込)

左の写真は先日竣工したばかりの住宅です。ローコストながら、構造材や階段、床材も木童の材を使っていただき、施主にとっても満足度の高い仕上がりになっています。こちらの住宅でLDKと玄関を仕切る建具に源平パネルの建具を採用してもらいました。当初はシナフラッシュの予定だったのですが、家の顔となる部分ということで、もう少しだけ頑張って予算配分してもらったのです。質感そして調和が取れていると見たのは私達だけでしょうか。

ただ、杉の「赤白柎目無地上小」の「白」の部分は湿気の多い浴室などではカビが定着することもあるため、「木童の超・撥水」(※)を1回塗装して出荷しています。

(※)木童オリジナルの撥水剤。新製品です。

★家づくりの現場から ～T邸・八王子市 設計：HAN環境・建築設計事務所～

「これぞ木の家だね」T邸の見学会に来られた方は口々に声を揃えてこう言われました。道路側からは家の表情として、耐候性のある南波から松が全面に張られています。中に入ると、前面の格子の引戸が目隠しをしつつ、風が2Fのハイサイドの窓へと通り抜けるような設計に。木童ショールームで個展をしていただいた際にも、タイトルに“パッシブデザイン(※)のいえ”とあった通り、このT邸も自然の力を心地よく感じられる家です。2Fの床材には足触りのよい30mm厚の相生杉、湿気の多いサウナ室には抗菌性の高い能登ヒバを使用し、木の家として適材適所にも気を配っています。



(※)太陽の光や熱、雨、地中の熱、風など自然にもともとあるエネルギーを最大限利用するための建築デザイン。「環境共生」という言葉で表現される事もある。

★家づくりの現場から? ～T邸・八千代市 設計：A.A.E一級建築士事務所 施工：小川共立建設～

部屋を二分するように造られた斜めに傾斜した木の壁。目の錯覚?!ではなく、斬新なデザイン! この壁は玄関外にまで続いていて、見る人が皆驚きます。実は材料は杉の6mの通し柱。その組み合わせ方でこんなにユニークな見せ方ができるなんて驚きです。



「杉の通し柱 対面化粧 100本」最初に見積依頼があった時、これはどんな家なんだろう?と木童内でも話題になりました。まず通し柱を1軒の家で100本も使う事がないし、通し柱を対面で見せるという使い方も珍しい。通常は2面が化粧の場合、対面ではなく直角の2面となることが多いのです。“対面がきれいで更に素性の良い材”を揃えるのは少し大変で、木童に見積依頼があった理由も、そのような材を簡単に揃えられる材木屋がなかったためでした。



ところどころ柱を切って空間を設け、デザイン兼空気の通り道としてある。実際は壁部分には約65本を使用し、100本見立てた中から更に現場で選んだそうです。



この傾斜した壁を木で作ろうと考えた発想がすごい! TV番組で取り上げられた際も『ねじれた列柱の家』というタイトルで紹介されていました。

★猫の階段?!

愛犬グッズはたくさん見かけるけれど、愛猫グッズはそうでもない...とお嘆きの愛猫家の皆様へ。本物の住宅の階段を作る工場が手掛けた本格的な猫用階段のご紹介です。木童ショールームの前面にひと際目立つ大きな階段に“何だろう?”と興味を持って見ていただいた方もあるかと思います。あえて!猫のために作りました! 運動不足気味の我が家の猫ちゃんのために、少し贅沢なインテリアに、リビングの片隅にいかがでしょうか。形状の変更や樹種のご指定、特別仕様もご相談に乗れますよ!

¥268,000-



木童 NEWS ラインナップ

企画展のご案内

- 第69回企画展 9/28(月)～10/3(土)「スローな家づくりはいかが」木の家だいすきの会
- 第70回企画展 10/13(火)～31(土)「石井秀樹建築設計事務所」展
- 第71回企画展 11/2(月)～7(土)「スローな家づくりはいかが2」展 木の家だいすきの会
- 第72回企画展 11/9(月)～28(土)「JIA 建築家」展
- 木童通信をHPよりダウンロードできるようになりました。バックナンバーをご希望の方はこちらをご利用下さい。